

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|---|----------------------------|--|--|-------|--|
| 1 | 第六次鳥羽市総合計画 前期基本計画(案) 39ページ | 「成果指標」表中 | <p>運動施設利用者数(市内在住者) 現状値31,196人(平成30年度) 目標値52,000人(令和7年度)</p> <p>38ページ6行目で「運動施設利用者は年々減少傾向にある」となっていますが、39ページ②の「成果指標」表内で「運動施設利用者数(市内在住者)」が約1.6倍に増加する根拠は、何ですか？</p> <p>市民の森公園などを含めた鳥羽中央公園一帯の人数ということですか？市民文化会館の利用者分を加えた数字ですか？</p> | 生涯学習課 | 鳥羽市民文化会館の大ホールや会議室、鳥羽市武道館、鳥羽市民体育館サブアリーナ分を追加して、目標値を設定しました。 |
| 2 | 基本構想 3ページ | 鳥羽には、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台となった神島、戦国武将九鬼嘉隆が眠る答志島、しろんご祭の菅島、江戸川乱歩と妻隆子が愛を育んだ坂手島など島々の文化や伝統をはじめ、世界に誇れる地域資源である海女文化など魅力にあふれています。 | <p>将来像「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」を実現するためにこの部分の表現は豊かな海の恵みが鳥羽の強みという部分には該当しがたい。鳥羽の海の恵みの部分をもう少し紹介したほうが良い。</p> <p>鳥羽の海の恵みには、伊勢湾に流れ込む栄養豊富な水と熊野灘からの黒潮の影響を受け、おいしい黒海苔やワカメ、ひじきやアラメなどの海藻、トロサワラや伊勢海老、アワビサザエなどの数多くの海産物が上がる。これらはいずれも地域の人たちが日々の営みの中で努力して生産してきたものである。鳥羽の海の恵みをたくさんの人々に知っていただくとともにこれらの産業を育て続けていく努力を大事にした取り組みをして、鳥羽ならではの魅力を放ち続けられるようなまちづくりを進めます。</p> | 企画財政課 | ご指摘を踏まえ、海の恵みの部分に水産業の営みにかかる記述を追加し文章を修正いたします。 |
| 3 | | | 5次総の後期基本計画施策評価では内部評価と外部評価の乖離が目立つ。内部での検証がしっかりできていないのではないかな。 | 企画財政課 | いただいたご意見を施策担当課で共有し、内部評価については引き続き適正な検証に努めます。外部評価は執行側とは異なる視点でのチェックをいただくものであるため、乖離がある意見については特に参考としてまいります。 |
| 4 | | | 計画策定の過程でどれだけの方が関わったのか。また、どのように関わる機会を創出したのか。特に若者世代の意見を取り入れることができているのか。 | 企画財政課 | <p>計画策定に市民の方のご意見を反映させるため、市民意識調査、市民インタビュー、事業者インタビュー、まちづくり市民会議を実施いたしました。</p> <p>また、若者世代の意見を取り入れるよう、成人式の会場にてインタビューを実施し、鳥羽の強みや20年後の姿についてなどのご意見をいただき計画への反映を行っております。</p> |

| 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|-------|-----------------|--|-------|--|
| 5 | | パブリックコメントの進め方に疑問を持っています。市の広報での案内もなく、HPやSNSだけの告知となっている。どれだけ多くの市民がこの構想や計画を知っているのか疑問です。コメントをいただくための市、課の努力が見えません。性質上、多くの方がパブリックコメントを行いませんが案内をしているのとしていないのでは意味合いが違います。鳥羽市の最上位計画をこのような形で進めていいものなのでしょうか。市民思いのつまっていない基本構想や総合計画に意味はないように思います。 | 企画財政課 | 市民意識調査や市民インタビュー、まちづくり市民会議等により市民の思いが詰まった第六次鳥羽市総合計画となるよう計画策定を進めてまいりました。第六次鳥羽市総合計画の素案策定のスケジュールの中で、広報とばへの掲載時期とパブリックコメントの実施期間で時期のタイミングが合わなかったため、市ホームページ、市SNS、市役所本庁舎及び全連絡所、図書館を活用した告知を行いました。少しでも多くの市民の方よりご意見をいただくため、市民の方がより多く訪れるショッピングセンターに協力いただくとともに、とばメールの送信により第六次鳥羽市総合計画パブリックコメントの周知に努めました。 |
| 6 | | 計画を通じてSDGsの記載が見られません。目指すべき姿に該当するSDGsのアイコンを記載するなどして気運を高める機会すべきではないでしょうか。推進していく気がないならSDGsバッジは外した方がいい。 | 企画財政課 | SDGsは人口減少や高齢化、経済の衰退、気候変動等に対応し、持続可能な社会をつくるため、2015年に国連サミットで採択された国際目標です。当然、推進をしていきますが、総合計画は鳥羽ならではのまちづくりについて示すものであり、より本地域の特性や課題に沿った記述をしていきます。このため、基本構想及び基本計画の本文中にSDGsという単語の表記はしておりませんが、バックキャスト手法を用いて中長期的な未来を見据えた持続可能なまちづくりを着実に実現させることを目指しております。SDGsのアイコン表記により機運を高めていくことも大変重要であることは理解しております。第六次鳥羽市総合計画全体が持続可能なまちづくりへの取り組みであるとして考えております。 |
| 7 | | 企業誘致について審議会で3件の指摘がある。事業展開で実施としているが計画には誘致の字は出てきていませんが計画に盛り込まなくてもいいのか。 | 農水商工課 | 企業誘致については、これまでの企業誘致に加え、ワーケーション、テレワークなど新たな企業誘致を模索していくために計画掲載しておりません。方向性が出次第に掲載を検討していきます。 |
| 8 | 前期基本計画 23ページ | ①男女がともに子育てを担う環境づくりをすすめるのであれば、事業に参加、施設を利用する男女比率を成果目標にすべき。年間利用者数が達成できても利用者が母親だけでは達成できたとはいえない。 | 健康福祉課 | 近年、男性が子育てしやすい『育児休暇制度』などの環境が整備されています。ただ、2019年度の男性育休取得率は、前年度比較で上昇傾向にありますが、7.48%とまだ低い割合に留まっています。 このような現状の中、「だっこ」やハッピーセミナーの利用者は、女性(母親)が多く、出産後の心身のことや子育てについての相談がよく聞かれます。その対応として、助産師を配置した「利用者支援事業」を開始し、育児不安の軽減や子育てを楽しめるようにリフレッシュなど充実してきています。 男女がともに子育てを担う環境を目指して、男性(父親)が参加しやすい休日開催や事業の内容を工夫してきたことから、少しずつではありますが参加して頂けるようになってきています。このことから目標値として男女比は明記しませんが、今後も男性が参加しやすい事業展開を検討していきます。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|------|---|------------|---|
| 9 | 前期基本計画 24ページ | | ③要支援児童数、成果指標は人数ではなく、全体の割合にすべきでは。 | 健康福祉課 | 成果指標で示した要支援児童数(児童虐待関係)の対象となる年齢は、0歳～18歳となっています。児童人口全体の減少率や要支援児童の母数も年々変化することから、市内における児童虐待案件の実態を鮮明にするため、全体の割合ではなく人数での表記としています。 勿論、要支援児童数を”零”に近づけるべく、引き続き、虐待の発生防止に向けた周知・啓発を徹底していくよう、相談体制の強化を図ります。 |
| 10 | 前期基本計画 25ページ | | 課題指標は18歳以下人口でいいのか。どれだけの子どもたちが地域の魅力を伝えることができるか、そのベースアップが課題指標ではないのか。 | 学校教育課 | 18歳以下人口については、課題指標であり、子どもたちが地域の魅力を伝えることができる成果指標のベースアップをもって課題指標を達成するものと考えています。 |
| 11 | 前期基本計画 28ページ | | 課題指標は18歳以下人口でいいのか。25pの課題指標にも言えるが施策を展開した結果を測ることができないと考えます。しかも18歳人口を→で置くのであれば出生数(22p)は↑になるはずで、逆に出生数を→で置くのであれば18歳人口は↓になるはずで、指標としての整合性が取れていません。 | 学校教育課 | 長期的に18歳以下人口を維持していくために必要となるのは①18歳以下流入人口の増加、②18歳以下流出人口の抑制、に加えて③出生数の3つになります。 出生数現状維持する場合に18歳以下人口は減少となるはずとのご指摘ですが、上記3要素の組み合わせの問題となるため、必ずしもご指摘の矢印の動きにはならないと考えております。 |
| 12 | 前期基本計画 33ページ | | ①広報とばでの啓発は最低限すべきことであり成果指標にあたるとは思えません。どれだけ啓発ができ、理解が深まったかを測る指標でなければならないのでは。 | 市民課 | 第六次鳥羽市総合計画には成果指標と課題指標があり、ご指摘の「どれだけ啓発ができ、理解が深まったか」の内容は課題指標にあたる考えられます。ここでは具体的な行政の取組の成果を測ることができる成果指標として広報とばでの啓発回数をあげさせていただきます。 |
| 13 | 前期基本計画 45ページ | | ①会議の回数が成果指標になるとは思えません。 ②HPやSNSで情報が快適に得られるようになれば案内所での案内は減ると思います。どこでも案内所へ行かずとも情報を取れるよう環境整備が必要だと思います。HPやアクセス数も加えるべきではないでしょうか。 | 建設課 観光課 | ①眺望景観の保全について、多様な側面からのアプローチが必要であることは認識していますが、市の景観に関するランドデザインは景観計画であるため、景観づくりに関する重要事項について調査審議を行う景観審議会の開催回数を指標とさせていただきます。 ②自身で情報収集を完結される観光客の割合は増加傾向にありますが、明確な目的は設定せず着地点で情報収集をされる方、隙間時間を活用されたい方のニーズは根強く残っています。モバイル端末の画面では視認しづらい多様なパンフレットを用い、季節・時間・天候・嗜好に応じた対面での案内も両立して継続する事で、訪れやすい観光地を目指します。 また、SNSの指標については、施策目標「⑦海洋文化を守り、活かす」中のP43戦略的なプロモーションで掲載しています。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|------------------|--------------------------|---|-------|---|
| 14 | 前期基本計画 54ページ | | ③200頭では少ないのではないのでしょうか。住民が参画した対策を進めるのであれば参画した人数であるとか免許取得をどれだけ促進できたかを成果に加えるべきではないですか。 | 農水商工課 | 令和7年度の目標値200頭については、単年度の目標値として有害捕獲報奨金の対象頭数を確保していきたいとの思いがあります。毎年度200頭以上は捕獲し、獣害対策を継続していきたいと考えております。捕獲者は、狩猟免許を保有する三重県猟友会鳥羽支部の住民の方々になり、令和2年度現在約50名の方がおられます。猟友会、自治会等と行政が共に取り組むため、鳥羽市獣害対策協議会の活動を促進していきたいと考えております。 |
| 15 | 前期基本計画 66ページ | | ③ボランティアの回数では根本的解決になりません。ゴミが減るといことは、ボランティア回数も減ってよいのでは。審議会での指摘も根本的な発生源対策が必要と意見されています。成果を測るのもゴミそのものを減らす対策における指標がいいのではないのでしょうか。 | 環境課 | 鳥羽市の漂着ごみについては、市外から流れてくるごみがほとんどで海ごみゼロにするためには伊勢湾全体の漂流ごみを抑制していく必要があると考えています。 必要な対策としては、①流れてきたごみを回収処理する取り組みと、②ごみそのものを無くしていく発生抑制の取り組みが必要です。 ご指摘の②の取り組みにおいては伊勢湾の各市町の行動が必須で、その行動を促せる取り組みとして、ボランティア活動の活性化を取り上げました。 市外の方々がボランティアに来てもらい、その現状をそれぞれの地元で共有して市外の活動の活性化を促し、発生抑制に繋がればと考えております。 |
| 16 | 前期基本計画 69ページ | | ⑤年一回でいいのでしょうか。どれくらいの規模を想定しているのかわかりかねますが、各エリアで一回ならまだしも、市内で年一回では課題解決できるような思えません。いつでもどのエリアでも相談できる機会や仕組みができているかを目標値とするべきではないのでしょうか。それが年一回の相談会なら違うと思います。 | 建設課 | 相談会ですが、空家問題には相続登記等専門的な知識を要することから、司法書士等が参加する相談会として、1回としています。 なお、空き家に関する電話相談、出前トーク等の活用によって、市民や町内会が相談しやすい体制づくりについては、勿論努めていきます。 |
| 17 | 前期基本計画 107ページ | | 指標の広報とばはベースは高いところにあるので「よく見る、利用する」のみを指標とした方が、正しく進捗を測ることができるのではないのでしょうか。 | 総務課 | ご指摘を踏まえ、指標の取り方を「よく見る、利用する」のみに修正します。 |
| 18 | 前期基本計画 5ページ | 本市への転入者は、20歳代のみ栃木県小山市が最多 | なぜ栃木県小山市なのか要因をお聞きしたい | 企画財政課 | 当該市の研修施設から外国人研修生の受け入れにより、20歳代の方の本市への転入が多くなっていると考えられます。 |
| 19 | 前期基本計画 9ページ | 財政 | このページにも財政調整基金について記載をして頂きたい | 企画財政課 | 本ページでは、主に歳入歳出の決算状況を記載していることから、財政調整基金の残高や今後の見通し等については本計画の行政改革大綱欄にて確認して頂くようお願いいたします。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|--|--|-------|--|
| 20 | 前期基本計画 13ページ | 市民意識調査 | 市民意識調査n=423とありますが、年代別は重要です。偏りがある？ | 企画財政課 | 市民意識調査につきましては、ランダム抽出により2,000人の方に調査を依頼させていただき、有効回答数423人でした。市民意識調査の結果につきましては、年代別も含め、市のホームページに掲載いたしておりますので確認していただきますようお願いいたします。 |
| 21 | 前期基本計画 13ページ | 鳥羽市は住みやすいと回答した割合が、67.2%を占めています。多くの市民が本市を住みやすいと感じていることが分かります。 | 住みにくいと回答している割合が、30.9%をしめていることの方が問題だと感じますが、ポジティブな回答は理解できるが、ネガティブな考察も大切です。 | 企画財政課 | ご指摘のとおり、住みにくいと回答いただいている30.9%の方を考察することは非常に重要であると考えます。この調査項目につきましては、次項の定住意向の調査により、住みにくいと回答いただいた方を含め要因の追求を行っており、調査結果を本計画を策定するうえでの留意すべき点としております。 |
| 22 | 前期基本計画 16ページ | 今後特に力を入れてほしいまちづくり分野 | 保健医療1位、福祉3位、いずれも健康福祉課が担当部署になるが、これほど市民が求めている分野に真摯に向き合うべきであり、社協との連携は重要な課題です。 | 健康福祉課 | 今後も社会福祉協議会と連携しながら健康福祉分野の推進に努めてまいります。 |
| 23 | 前期基本計画 16ページ | 今後特に力を入れてほしいまちづくり分野 | 雇用促進2位ですが、そもそも促進する前に、この数年での倒産件数、移転件数などをまずは調査する必要があるとおもいます。 | 農水商工課 | 雇用の促進をするにあたり、様々なデータの把握に努めます。 |
| 24 | 前期基本計画 17ページ | 居住地域における課題 | 地域共生社会という言葉をどれだけの方が知っているのかアンケート項目に取り入れる必要がある。 | 企画財政課 | 市民意識調査の項目につきましては、時世の状況を考慮した上で検討いたします。 |
| 25 | 前期基本計画 22ページ | 鳥羽市子ども子育て支援事業計画に基づき、子どもと子育て家庭に係る支援を推進してきました。 | 3歳児のムシ歯の数が何年も県内でワーストを記録している現状への対応と対策は？ | 健康福祉課 | 今年度幼児のむし歯予防につながるよう妊婦歯科健診を開始したところであり、今後関係する部署と連携し、3歳児のむし歯のり患率が減少するよう努めてまいります。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|--|--|-------|---|
| 26 | 前期基本計画 24ページ | 要支援児童数 (児童虐待関 係) | 目標41→29の根拠は？そもそもひとりだっ てあってはいけないはず。 | 健康福祉課 | <p>ご意見のとおり、児童虐待は1件たりともあ ってはならないものと認識をしています。し かし、令和元年度末で要支援児童(虐待関 係)として把握している人数は、41人である のが現状です。その内訳は、 ①進行管理している29人 ②虐待通告のあった12人 となっています。 ※進行管理とは、警察や児童相談所などで構 成した「要保護児童対策地域協議会」で指導・ 観察中の案件。 ※虐待通告とは、「泣き声が聞こえる」「子ども の体に傷がある。」など市民や教育機関から 情報を受けたもの。</p> <p>ご指摘いただいた令和元年度から令和7年 度までに12名の減少に留めていますのは、① 進行管理の対象から除くには、相当の期間を 要すること(安全の確保が確実なものとなるこ と)、②虐待通告については、虐待防止法の 改正により、「しつけ」とみなす体罰の絶対的 な禁止が規定されるほか、要保護児童対策協 議会構成メンバーに対しても、「些細な事でも、 見逃さない。通報を…」などを訴えているこ とから、件数的に激減することは難しいと 判断しました。引き続き、通告を受けるよう な行為をしないよう、周知、徹底を図って いきます。</p> |
| 27 | 前期基本計画 25ページ | 自尊感情や郷 土愛に満ち、地 域の魅力を伝 えようとする意 欲が育っています。 | 教員側の意欲は？ | 学校教育課 | <p>教育委員会では、「自分が好き、友だちが好 き、鳥羽が好き」をキャッチフレーズに学校 教育活動全体をとらして自尊感情や郷土愛を 育む取組をしています。教員も本取組を意欲 的に取り組んでいます。</p> |
| 28 | 前期基本計画 25ページ | 食を通じてふる さとを知り、生 産者の思いを 学ぶ「鳥羽が好 きふるさと給 食」を実施 しています。 | 食生活推進協議会は鳥羽市にはある でしょうか？なければ設立を望みます。 | 学校教育課 | <p>現在、鳥羽市では、食生活改善推進協議 会、食育担当者会議など設置しています。子 どもから高齢者まで、市民一人ひとりが「食」 を大切に、心身の健康と豊かな人間性を育 み、食文化の継承・発展につながるよう、食育 を推進しています。</p> |
| 29 | 前期基本計画 27ページ | 地域とともに行 う学校づくり | 県立ではありますが地域の学校という 意味で鳥羽高校のコミュニティスクール を設置すべき。 | 学校教育課 | <p>ご意見のとおり、県立鳥羽高等学校コミュニ ティスクール設置については、県が設置する ものです。地域の学校という認識のもと、鳥羽 高等学校との連携を引き続き行ってまいります。</p> |
| 30 | 前期基本計画 29ページ | 廃校施設の利 活用検討 | いいかげんに旧鳥羽小学校の利活用 について具体案を出して行動に移すべ き。先延ばししすぎではないか？ | 生涯学習課 | <p>今後、旧小学校の活用方法について、民間 事業者の意見や新たな提案の把握等を行うこ とで、事業の検討を進展させるための情報収 集を行いたいと考えています。</p> |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|-------------------------------------|--|-------|--|
| 31 | 前期基本計画 30ページ | 鳥羽市学校通学区審議会を設置し、新たな統合計画の策定を行っていきます。 | 平成27年11月に策定されました鳥羽市小中学校統合計画における内容が実施されずに僅か3年程度で見直しを行うことが適切であるかどうか、責任を持って計画策定を。 | 教委総務課 | 鳥羽市小中学校統合計画については策定から5年を経過することから、審議会の答申等を踏まえて見直しを行い、保護者や地域との意見交換を行いながら計画を進めていきます。 |
| 32 | 前期基本計画 32ページ | 差別のない、だれもが幸せに暮らすことができる社会の実現に向けて | 鳥羽市の中学校の制服は女子のズボン、男子のスカートが可能である校則は？鳥羽高校はすでに可能となっている。 | 市民課 | 令和3年度より鳥羽東中学校、長岡中学校の制服が新しくなり、標準制服では男女問わずズボン、スカートが選べることとなります。今後、各中学校が標準制服として検討を行います。 |
| 33 | 前期基本計画 33ページ | 政策方針決定の場合の女性委員の積極的な登用に努めます | 女性というだけで何でもかんでも登用するべきではなく、あくまでも当て職ではなく公募を行うべきです。 | 市民課 | 第3期男女共同参画基本期計画では、充て職等の慣行の見直しに努めるとともに、公募委員制の拡大・周知を図るとしており、計画に基づき女性委員の積極的な登用に努めます。 |
| 34 | 前期基本計画 33ページ | 国際的な文化に対する相互理解の醸成 | サンタバーバラだけではなく、鳥羽市にいられている技能実習生が鳥羽市民と交流をもてる場を企画することが多様な共生社会の実現に繋がります。 | 市民課 | これまでも日本語教室や多文化料理教室などさまざまな企画を行っておりますが、今後も市民と技能実習生等の鳥羽市在住の外国籍のかたとの交流を図り、国際的な文化に対する相互理解の醸成に努めます。 |
| 35 | 前期基本計画 39ページ | 交流人口・関係人口の増加 | 増やすことを考えるよりも、なぜ減っているのかを考えるべき。コツコツと増やしてもそれを上回る何倍にもものスピードで転出が多く、水道の蛇口を止めることが先決です。 | 企画財政課 | 移住者に選ばれる魅力あるまちになることにより、市民のかたからも「住み続けたい」「住んでよかった」と思えるまちになり、転出抑制にもつながると考えます。 |
| 36 | 前期基本計画 41ページ | 安全・安心な観光地 | 観光客のケガや病気になったことは想定していますか？ホテルの語源とホスピタルの語源は同じラテン語に由来します。安全・安心な観光地を示すのであれば、伊勢市の医療機関に頼るのではなく、鳥羽市で一次対応が可能な体制は検討すべき。 | 健康福祉課 | 本市は観光がリーディング産業の一つであることから、観光客の疾病対策は大変重要であると認識しております。 また、志摩医師会、薬剤師会等の協力により、平成20年度より週3日夜間応急診療所を開設し、一次医療の確保に努めています。医療資源の乏しい本市ですが、安定した医療体制の提供に取り組んでまいりますので、ご理解のほどお願いします。 |
| 37 | 前期基本計画 48ページ | 滞在型観光の充実 | ワーケーションという言葉を使用しませんか？ | 観光課 | 日帰りと宿泊を比較した場合、経済効果は長期滞在の方が高くなることから施策の展開タイトルとして記載しています。 認知度が向上している「ワーケーション」の他、今後の新たなトレンドへの対応も含め包括的な単語として滞在型観光の表記といたします。 |
| 38 | 前期基本計画 53ページ | 新規農業者の人数 | 例えば、元市営小浜プール後のトマト栽培は新規農業になるのですか？施設利用のそういった発想は極めて重要です。 | 農水商工課 | 課題指標に掲げた新規農業者については、農作物の出荷販売をしている方になります。今後も、遊休施設等を活用した営農を促進していきたいと考えております。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|--------------------|--------------------------------------|--|-------|---|
| 39 | 前期基本計画 53ページ | 狩猟免許の取得を促進による有害鳥獣駆除の担い手確保 | 市における免許取得のための説明会など実施されましたか？またその助成のようなものはあるのでしょうか？ | 農水商工課 | 広報とば令和2年5月1日号に狩猟免許の記事を記載し、初心者狩猟免許取得予備講習会への参加募集を行いました。鳥羽市獣害対策協会では、この講習会の受講料全額を助成する制度がありますので、合わせて情報発信しております。 今後も広報等を通じた情報発信を継続するとともに、要望のある自治会等へ出向いて説明会や意見交換会を開催していきたいと考えております。 |
| 40 | 前期基本計画 56ページ | 事業承継補助金 | 本年5月からスタートして何件の採択がありましたか？ | 農水商工課 | ただいまの件数は0件です。 |
| 41 | 前期基本計画 57ページ | 就職氷河期世代などの幅広い年齢層に対して就労を促していくため | この世代対象の鳥羽市役所の新規職員採用は？すでにこの世代対象の新規職員採用を行っている自治体があります。 | 総務課 | 就職氷河期世代を対象とした採用試験は実施していませんが、年齢要件に当該世代の方が含まれる職種もございます。当該世代を対象とする試験の実施につきましては、今後の採用計画において検討していきたいと考えています。 |
| 42 | 前期基本計画 58、59ページ | 新たな起業や新規事業への挑戦を支援 起業支援 | 市の所有している空き家等の安価での支援提供は必要。空き家活用との連携で支援する方法を示していただきたい。 | 農水商工課 | 新たな起業の空き家活用については、庁内関係課と調整をしながら検討していきます。 |
| 43 | 前期基本計画 59ページ | 就業支援事業などに参加した中高生などのうち市内で就職した人数 | 鳥羽高校の市内入学者数が10%台で、市内に就職する鳥羽高校生がゼロの年が近年ありました。この地元の高校の入口と出口をしっかりと対策を練って頂きたい。 | 農水商工課 | 鳥羽市では高校生を対象に職場見学ツアーを行っており、地元高校生が地元で就職できるような施策を行っております。また、無料職業紹介所を開設して転職についての対応も行っております。 |
| 44 | 前期基本計画 68ページ | 管理不全となっている空き家の所有者などに必要な措置をとるよう助言及び指導 | 災害時に崩れる可能性がある空き家に対して行政執行を行う等の対応が求められます。 | 建設課 | 放置すれば特定空家化のおそれのある管理不全空家に対する措置として、行政代執行という手法は当然認識しています。それについては総合計画ではなく、策定を目指している「鳥羽市空家等対策計画」の中において、明記することを考えています。 |
| 45 | 前期基本計画 68ページ | 耐震基準を満たしていない市営住宅の取り壊し | 同じく耐震基準を満たしていない文化会館の取り壊しは？ | 総務課 | 旧市民文化会館ホール棟の取り壊しについては、多額の費用を要することから、限られた予算の中、現在供用中の市施設の改修費等の財政負担も踏まえ、解体工事の予算化を検討していきたいと考えています。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|---|--|-------|---|
| 46 | 前期基本計画 70ページ | 離島の観光振興、産業の発展に役立つとともに安心な生活に欠かせない架橋について必要性が幅広く認識され、建設に向けた話し合いが進んでいます | その必要性は何十年も前から話されているが、財源をどのようにするのか具体的に説明を求めます。 | 企画財政課 | 一般的に、架橋に係る建設事業費については事業費は国が3分の2、残りの3分の1を県と市で負担する事となります。 ただ、県道として整備する場合は、事業費の2/3を国が負担し、残りの1/3を基本的には県で負担する事となるため、県道としての位置付けでの整備について、他の公共事業との優先順位付けを図りながら要望活動が続けていきます。 |
| 47 | 前期基本計画 71ページ | 離島への交通機関は船舶のみとなっております | 空飛ぶ車の実験に鳥羽の離島を舞台にして頂き、鳥羽モデルとして積極的かつ先進的に行うべき | 企画財政課 | 現状企画財政課が窓口となり、実証実験の内容に応じて県や担当課、地元団体との調整を行っています。 前年度も坂手島を舞台とした実証実験を行っていただいております。離島の課題解決のため積極的に協力をしているところです。 |
| 48 | 前期基本計画 71ページ | 架橋の要望実施回数 | これは回数増やすより、その要望の中身と熱意が重要です。 | 企画財政課 | ご指摘のとおり、架橋の実現につきましては、要望の回数の視点だけでなく、その内容の中身と熱意が重要であると考えますが、地域の気運の醸成を図るとともに、継続的な国・県への架橋建設要望実施について、取り組み実施状況を定量的に測るための指標としましては、架橋建設要望への実施回数が適正と考えており、指標といたします。 |
| 49 | 前期基本計画 74ページ | 市民、団体、行政などが一体となって活気あるまちにしていこう | このパブリックコメントがどれだけ応募があるのか、それがひとつの一体感の指標になるとおもいます。 | 健康福祉課 | 令和3年～令和7年の長期的な指標を考える必要があるため、現行の指標が適当と考えます。 |
| 50 | 前期基本計画 77ページ | 介護予防の取組 | フレイル、オーラルフレイルに対する取組みについて記載を求めます。 | 健康福祉課 | 介護予防事業の中で、フレイル・オーラルフレイルに対する取組みを行っています。フレイル・オーラルフレイルの取組みに関しては、P78上から2行目以降に記載しています。 |
| 51 | 前期基本計画 80ページ | 災害時に障がいのある人が安全に避難できるように | 早急に避難行動要支援者名簿を作成すべき | 健康福祉課 | 要支援者名簿を作成してありますが、随時更新していけるよう努めていきます。 |
| 52 | 前期基本計画 82ページ | 災害発生時においても行政機能が停止することなく、 | 災害発生時に庁舎に職員がこれなければ行政機能が停止してしまうので、職員は市内の住居が望まれます。 | 総務課 | 災害時に登庁した職員が、迅速に対応できるような、計画やマニュアルを整備するとともに、対応力を向上させることにより、行政機能の維持を図っていきます。 また、採用時には市内に住所を有することを条件として付しています。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|-----------------|---|---|-------|--|
| 53 | 前期基本計画 83ページ | 観光地としての 防災力強化の ため、観光事業 者や鉄道事業 者と連携した防 災訓練の実施 | 医療機関を含めた防災訓練は行わないの のですが？ | 健康福祉課 | 医療機関と連携した災害時医療活動訓練に つきましては、地元医師会と実施に向けた取 り組みを計画しております。 |
| 54 | 前期基本計画 90ページ | 救急サポートス テーション制度 | 救急サポートステーションの認定事業 所制度は市民に浸透していないので もっとわかりやすく市民に周知するべ き。 | 消防本部 | ホームページには制度の詳細や認定事業 所一覧を含め掲載しておりますが、そのほか の広報手段として「広報とば」や「消防だより」 を活用し周知していきます。 |
| 55 | 前期基本計画 91ページ | 二次医療の大 半を伊勢赤十 字病院及び市 立伊勢総合病 院が担ってお り、自家用車 を持たない患 者の通院手段 の確保は重要 な課題 | この課題は数十年前から想定できたこ とであり、迅速に課題に向き合うべき。 市民の要望の上位にあたる課題です。 | 健康福祉課 | ご意見のとおり、誰もが地域で安心して暮ら せる環境づくりが求められており、医療機関へ の通院手段についても重要な課題と考えてい ます。通院に限らず多様な移動ニーズを整理 し、交通政策を一体的に考えていく必要があ ると考えています。 |
| 56 | 前期基本計画 92ページ | 空とぶクルマの 実証実験 | 庁舎内に担当課まではいかなくても、 担当係をつくり、県が推進している事業 なので、県と連携をとれる体制を整え るべき | 企画財政課 | 現状、企画財政課が窓口となり、実証実験 の内容に応じて県や担当課、地元団体との調 整を行っています。 前年度も坂手島を舞台とした実証実験を 行っていただいております。離島の課題解決のた め積極的に協力をしているところです。 |
| 57 | 前期基本計画 96ページ | 休日・夜間応急 診療所を開設 するなど医療 サービスの提 供に取り組ん でいます | 歯科は？ | 健康福祉課 | 現在は医科のみ開設していますが、歯科に ついては、課題として地元医師会からご意見 をいただき、提供方法について検討してまい ります。 |
| 58 | 前期基本計画 97ページ | 観光客がいつ でも安心して受 診できる一次医 療体制の確保 を | 歯科は？ | 健康福祉課 | 歯科における一次医療体制については、地 元歯科医師会との連携を図りながら、取り組 んでまいります。 |
| 59 | 前期基本計画 99ページ | 疾病の予防や 健康増進に向 けたきめ細や かな保健事業 の実施 | 歯科は？ 小学校におけるフッ素事業 は県の条例においても推奨されている のに、疾病の予防を行わない理由は？ | 健康福祉課 | 疾病の予防や健康増進に歯科も含まれてお ります。 フッ素洗口は、市内保育所において取組を 始めたところであり、小学校での実施につい ては、教育委員会や各学校との調整等が必要 なことから今後検討していく課題となってい ます。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|------------------|--|---|-------|---|
| 60 | 前期基本計画 102ページ | 伊勢志摩定住 自立圏形成協 定を締結 | 協定を締結しているのは理解できます が、具体的にどのような内容なのか市 民に広く周知する必要があります。 | 企画財政課 | 定住自立圏は中心市と連携市町が役割分 担し、協力することで広域の生活圏の中で命 と暮らしを守っていく機能を維持していく取組 みです。協定の具体的な内容につきまして、 市民に広報等を用いて周知を図ります。 |
| 61 | 前期基本計画 102ページ | 総合計画審議 会は幅広い分 野の委員 | 市長の委嘱となっているが、公募枠は あるのか？なければ創設すべき。 | 企画財政課 | 様々な専門分野の審議委員により諮問いた だいております。市民公募につきましては、市 民公募枠制度を取り入れ、本市の総合計画 の策定や取組みの評価について審議いただ いております。 |
| 62 | 前期基本計画 104ページ | 職員の能力・実 績を適切に把 握し、人員配置 や給与処遇な どにおいて活用 | 若い職員が担当課を希望できる制度 が必要であり、市民の要望も取り入れ る体制が望まれます。 | 総務課 | 希望する分野・所属については、毎年自己 申告書にて把握に努めているところです。今 後とも職員の能力等について適切な把握に努 めていきます。 |
| 63 | 前期基本計画 104ページ | 人口減少に伴 い、税収の落ち 込みが見込ま れる中、職員定 数の適正化が 課題 | 官民連携を推奨していく必要がありま す。 | 企画財政課 | 様々な行政課題を的確に対処するため には、産官学金労言士をはじめとした官民連携 により、急速な社会環境への変化に対応して いくことが必要であると考えております。 |
| 64 | 前期基本計画 105ページ | 職員満足割合 | 17.5%の満足していない職員の意見 を知りたい。 | 総務課 | 具体的な意見等については公表していま せんが、理想と現実のギャップや業務多忙によ り充足感が感じられない等の意見がありまし た。 |
| 65 | 前期基本計画 105ページ | 人材育成の推 進 | 車検切れの公用車を指摘されながら 公道を運転をしてしまった事例から、上 司に連絡をとり指示を仰ぐという基本 的な危機管理体制が整っていないこと に基本的な人材育成が望まれる。 | 総務課 | ご指摘の事例を招いたことにつきましては、 誠に遺憾であり深く反省するところでありま す。 今後、本市の職員人材育成基本方針に基づ き人材育成に努めてまいります。 |
| 66 | 前期基本計画 106ページ | 広報とばを「よく 見る、利用す る」「時々見る、 利用する」人の割 合 | パブリックコメントを募集する記事を広 報とばに今回掲載しなかった理由をお 示してください。 | 企画財政課 | 第六次鳥羽市総合計画の素案策定のスケ ジュールの中で、広報とばへの掲載時期とパ ブリックコメントの実施期間で時期のタイミン グが合わなかったため、掲載をしておりませ ん。市ホームページ、市SNS、市役所本庁舎及び 全連絡所、図書館、ショッピングセンター、とば メールを活用して周知に努めました。 |

| | 該当ページ | 該当箇所 | パブリックコメントでいただいた意見 | 担当課 | 意見に対する担当課の考え方 |
|----|------------------|--|--|-------|---|
| 67 | 前期基本計画 106ページ | 財政調整基金は平成23(2011)年度の370,703千円から平成28(2016)年度には713,789千円まで増加したものの再び減少に転じ、平成30(2018)年度は577,568千円となりました。 | コロナ禍において全国の自治体の財政調整基金が注目を浴びましたが、同じ規模の自治体と比べてこの額はどうか、また、何に使用したのかを市民に分かりやすく知らせて頂きたい。 | 企画財政課 | 令和元年度末時点における本市の財政調整基金(現在高)は、三重県内においても下位に位置しています。 そのため今後とも経済情勢等による歳入不足や災害等の緊急な経費等に備えるためにも財政調整基金を計画的に積み増していく予定とすることから、予算・決算等において市民の皆様にご理解頂けるよう周知していきたいと考えています。 |
| 68 | 前期基本計画 120ページ | ボランティアセンターの受入れや派遣の体制整備に努める必要 | 社協が受け入れ窓口となるが、現在の社協がその対応ができるとはおもえない。早急な連携体制が必要である。 | 市民課 | 災害発生時にいち早く様々な関係機関と連携して取り組むため、平時から情報共有を行うなど体制整備に努めます。 |
| 69 | 前期基本計画 126ページ | 生涯学習やスポーツを進める | ひだまりの施設も含まれるので健康福祉課も担当課として加える必要がある。 | 企画財政課 | 健康福祉分野における学びの機会や体を動かす指導等も実施していきますが、それらは⑥や⑮といった、より関連性の高い施策に紐づけて整理しています。関係課の連携は必要ですので実施段階では、計画記載以外の協力、調整も行っていく予定です。 |